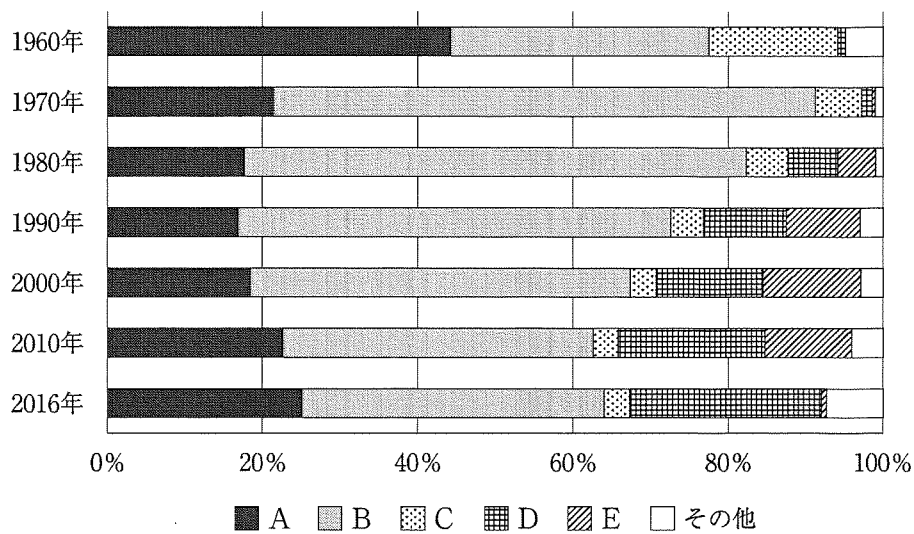


地理 問題Ⅱ

鉱工業に関する次の問1～3に答えなさい。

問1 次の図1は、日本における一次エネルギー供給割合の推移を示したもので、A～Eは、石炭、石油、天然ガス、水力、原子力のいずれかである。図1に関して、下の(1)～(3)の問いに答えなさい。



『日本国勢図会』などにより作成。

図1

(1) 図1について述べた次の文章中の空欄 (1) ～ (5) に当てはまる語を答えなさい。

世界的には、Aは (1) 革命以降にエネルギー供給の中心となったが、20世紀に入ると (2) 機関の利用でBの供給量が増加し、1960年代にはAの供給量を上回って (3) 革命と呼ばれた。日本でも1970年にはBが一次エネルギー供給の7割を占めたが、1970年代の (4) の影響で割合は低下し、代替エネルギーとしてDやEの割合が高くなった。近年は、その他の割合が少し高まっているが、これは風力や太陽光などCと同様の (5) エネルギーの利用が進んでいるためである。

(2) 2010年から2016年にかけてのDとEの割合の変化の背景について、それぞれのエネルギー名をあげながら説明しなさい。

(3) 次の表1は、日本におけるAとBの輸入先とその割合の変化を示したものである。a～dの国名を答えなさい。

表1

A

(単位：%)

	1975年		1990年		2017年	
1位	a	37.6	a	52.8	a	61.8
2位	アメリカ合衆国	34.4	カナダ	17.5	c	16.6
3位	カナダ	18.5	アメリカ合衆国	11.0	ロシア	9.4
4位	ソ連	5.1	ソ連	7.7	カナダ	4.4
5位	b	0.7	b	4.4	アメリカ合衆国	4.2

B

(単位：%)

	1975年		1990年		2017年	
1位	サウジアラビア	25.5	d	21.2	サウジアラビア	40.2
2位	イラン	24.8	サウジアラビア	20.4	d	24.2
3位	c	11.4	c	12.3	カタール	7.3
4位	d	9.2	イラン	10.0	クウェート	7.1
5位	クウェート	8.6	b	7.1	ロシア	5.8

『数字でみる日本の100年』などにより作成。